

Tidal Enterprise Orchestrator : インポートのレポートのトラブルシューティング

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[Import レポート](#)

[考えられる問題](#)

[Import レポート規格ステップ](#)

[関連情報](#)

概要

この資料は Tidal Enterprise Orchestrator (TEO) のための Services レポートを報告する SQL サーバをインポートするときトラブルシューティング テクニックを記述したものです。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は Tidal Enterprise Orchestrator 2.1 または それ以降に基づいています。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

Import レポート

TEO で、> データベース設定 『管理』 を選択して下さい。 報告データベースを右クリックし、レポート Import レポートを 『Import』 を選択して下さい。

考えられる問題

Import ウィザードの最初のページの資格情報で入った後、一般に顧客は接続のまわりでポップアップ エラーを見ます。 チェックすべき最初の事柄は TEO サーバからレポート サーバ URL に到達できることを確認することです。 この URL を TEO サーバの Webブラウザにコピーし、それに行くことを試みて下さい。 TEO サーバからそれに到達できなければ Import レポートにできません。 またユーザ名 および パスワード 組み合わせが正しいことを確認する必要があります。 Next ウィンドウで、位置が正しいことを確認して下さい。 位置は 2.1.X と 2.2 に以前のバージョンのための適切なレポートをインポートするか、またははたらかないことを、確かめます異なります。

Import レポート規格ステップ

次の手順を実行します。

1. > データベース設定 『管理』 を選択して下さい。
2. レポート データベースを右クリックし、レポートを 『Import』 を選択して下さい。
3. ウィザードの最初のページの適切な URL および資格情報を入力して下さい、『Next』 をクリックして下さい。
4. RDL ファイルの位置を入力して下さい、『Next』 をクリックして下さい。
5. ファイル インポート。

関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)